

## 麻賀多神社にラック寄贈

佐倉自転車活用推進協議会

自転車をもっと楽しみエコージョーな社会づくりに役立てようと活動する佐倉自転車活用推進協議会（吉崎隆会長）が、佐倉市の麻賀多神社に手作りのサイクルラック2基を寄贈。2月11日に境内に設置した。

近年の自転車ブームを受け、神社をサイクリングコースに組み込んでもらおう

と、自身も自転車を愛用する宮本勇人宮司が協議会の敷根史裕顧問に相談。スタンドのないロードバイクや

マウンテンバイクでも気軽に立ち寄ってもらえるように協議会がラックの寄贈を申し出て、吉崎会長と山崎

一夫さん、沼尻周さんが神社の雰囲気に合わせて木材でラックを製作した。

吉崎会長は「今後は市内の公民館や図書館にも寄贈して自転車の利便性を高めたい」と語り、宮本宮司も「こうした

設備で市内の点と点が結ばれたら」と期待を語った。佐倉市周辺では印旛沼から利根川へ至るサイクリングロードが整備されており、敷根顧問によると幕張方面からの来訪者も多いが、旧跡の多い佐倉市街に立ち寄る人は少なく「環境整備が必要」という。

なお、同協議会では交通安全の啓発活動や観光協会のレンタサイクルの整備を行うなど自転車文化の普及に貢献するほか、里山サイクリングを楽しむ月例会も開催している。参加希望は ☎0800・7698・6601（吉崎）へ。



寄贈された木製サイクルラックをお祝い